



平成 30 年 11 月 30 日(金)  
練馬区立開進第四小学校  
校 長 河 崎 晃 二

# 開四小だより

## 12月号

### 再 会

副 校 長 桐 敷 芳 子

早いもので、今年もあと一月を残すばかりとなりました。先月の音楽会では、地域・保護者の皆様にご大変お世話になりました。皆様のご協力とあたたかい励ましの数々に、心より感謝申し上げます。

\*

12月8日の土曜日は持久走記録会です。子供たちは、自己ベスト記録を目指して最後まで粘り強く走り抜くことを目標に、体育の授業や中休みに取り組んでいるところです。先日の体育朝会には開四中陸上部の生徒さんをお招きし、手本の走りを披露してもらいました。皆、開四小の卒業生です。久しぶりの再会でした。彼らがとびきりの笑顔で挨拶をしたり、下級生に優しく教えたりする姿がとてもまぶしく、その日の晴れた空のように、すがすがしい気持ちでいっぱいになりました。

\*

買い物があって駅ビルに立ち寄った時のことです。エスカレーターにぼんやり乗っていたら、すうっと横に並んで来た美しい女性に声をかけられました。「先生、先生でしょ？」背中まである長いつやつやの黒髪、よく通る声。こちらを見つめる切れ長の眼は、アイラインでくっきりと縁取られています。

「私、N子です。覚えてますか？今、学校の先生になる勉強をしています。特別支援学校の先生になるのが目標なの。」

N子。覚えていますとも。向こうっ気は強いけれど涙もろく、男の子とすぐけんかをしては泣いていたN子。面倒見がよくて、下級生をかわいがっていたN子。私は、彼女が学校の先生を夢見ていたことには全く気付かないどころか、想像すらしていませんでした。

エスカレーターが上の階に滑り込み、私たちはそこで別れました。人の気持ちや思いを、自分では分かったつもりでも、本当は何も分かっていないのかもしれませんが。思いがけない再会を通して、そのことを彼女に教えてもらったのです。目標をもって努力している彼女と、いつかいっしょに仕事をするかもしれないな、と思いました。N子の夢が叶いますように。彼女のきらきら輝く瞳には、アイラインがとてもよく似合っていました。

\*

今年、どのような再会があったでしょうか。12月は一年間のおしまいの月。人も世の中も慌ただしく行き交う月ですが、「おしまい」は、「はじまり」でもあります。よい年を迎えられるよう、人と人との出会いを大切に、充実した師走を過ごしたいものです。